

夢育通信

新春号 令和4年1月吉日発行

発行者 宇都宮市立清原北小学校長
青柳文男

あけましておめでとうございます

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。本校におきましては、コロナ禍の中でも、「新しい生活様式で最大の教育的効果を」を合言葉に、充実した活動が展開されております。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。教職員一同、心から感謝申し上げます。

さて、本校の特色は何と云っても、少人数を生かしたきめ細やかな指導ですが、もう一つの柱が、「板戸の地域素材や教育力を生かした教育活動」です。地域に伝わる「鬼怒の船頭唄」を歌い継ぐ、船頭唄を発展させた「Sendo ダンス」を運動会等で踊る、そして、「鬼怒川」や「板戸河岸の船頭さん」をモチーフとしたミュージカル「鬼怒川のいのち」と劇「船頭物語」を演じる、などです。

また、昨年度より、「川の一里塚」を活用した学習を始めました。これは、夢育劇場で演じるミュージカル「鬼怒川のいのち」や劇「船頭物語」の舞台である「鬼怒川」や「板戸河岸」跡で、各学年ごとのめあてをもって行う学習です。その中で今年は、4年生の野鳥観察や5年生の「川の水のはたらき」の学習に、「板戸ネイチャークラブ」の皆様にご支援をいただきました。野鳥の見分け方を教えていただいたり、鬼怒川対岸で発見されたクジラの化石のお話などをしていただいたりしました。現地でのお話だけに、子どもたちの興味関心も高まり、自分たちの学ぶ板戸への理解もいっそう深まりました。

今後も保護者の皆様や地域の皆様には様々な場面でご支援を賜ることと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



【川の一里塚での3年生】



【野鳥観察する4年生】



【クジラ化石の話を聞く5年生】

今年は「とらどし」「令和4年」です

今年「とらどし」です。子どもたちに、「とら」にちなんだことわざや慣用句を紹介し、今年をこんなふうにご過ごしましょう、という話をしました。

- ・虎の子 ➡ 大事な物、お金 ➡ お年玉を大切に使いましょう。
- ・虎の巻 ➡ 大事な本、書物 ➡ 本をたくさん読みましょう。
- ・虎の尾を踏む ➡ 危険をおかす ➡ 虎の尾を踏んではいけません。「自分の身は自分で守る」つもりで、危険にあわない行動を心がけましょう。

また、「4」という数字は日本では縁起が悪いとされていますが、西洋では、「四つ葉のクローバー」は幸福をもたらすものとされ、日本でも好まれています。物事の一面だけを見ないで、別の見方をすることが大切です。友達の良いところを探しましょう、と話しました。

本校では、KASAのシンボルマークが四つ葉のクローバーですね。なお、このマークは、2009年度の卒業生が考案したものです。



あけましておめでとうございます！



【昔遊びに大興奮！ 1年生】

昔遊びボランティアさんにいろいろな遊びを教えてくださいました。初めて体験する遊びも、挑戦しできるようになりました。「次は家族でやりたい！！」と話しています。(川原田)



【やる気満々！ 2年生】

「二重跳びができるようになりたい」「速く走れるようになりたい」「もっと漢字が書けるようになりたい」など、新年のめあてに向けてやる気十分です。(大坪)



【チャレンジ！ 3年生】

書写の書初めで、初めて小筆を使って名前を書きました。1月の歌は「Hello Goodbye」です。校長先生に教えて頂きました。新しいことに挑戦しています。(加藤)



【寒さに負けない！ 元気な4年生】

体育の授業や休み時間に、縄跳びをやっています。昨年より今年、昨日より今日の自分が一回でも多く跳べたり、技ができるようになったりするために、友達と励まし合いながら頑張っています。(石田)



【目標に向かって頑張ろう！ 5年生】

冬休みが終わり、2022年の新たなスタートを切りました。「自主学習をがんばる」「友達と仲良く過ごす」など新年の目標を決め、毎日がんばっています。(大塚)



【学んだことを生かす 6年生】

卒業が近づいてきた6年生は、少しずつ学習のまとめをしています。算数では拡大図の描き方を学んだので、グループで校庭いっぱいを使って地上絵を描きました。(阿久津)